

## 令和6年度 事業報告書

認定特定非営利活動法人 全国盲導犬施設連合会

### 1 事業の成果

「ともに生きる、ともに歩む」を共通の理念に、全国の盲導犬訓練法人施設の連合体として、視覚障害者が盲導犬を使用し自立と社会参加を図れるよう、広く盲導犬の普及啓発、相談、盲導犬無償貸与への助成を実施した。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

（事業費の総費用【70,486】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
普及啓発事業	・デュエット15万部、ポスター6千枚を作成配布、店舗等に補助犬同伴可入替カードを配布した。	4月1日～3月31日	・募金箱設置店 ・公共施設等	職員5名	・視覚障害者 ・全国の市民、企業や団体等	約31万人	15,233
	・墨字版・点字版・CD版の盲導犬情報を作成・配布した。	9月、3月	・盲導犬使用者、点字図書館行政機関等	職員2名	・視覚障害者	約31万人	
	・盲導犬ふれあいイベントの開催(30回)	4月1日～3月31日	・全国のスーパー店頭等	職員5名	・全国の盲導犬使用者	約8百人	
	・寄附・募金箱設置協力企業へ、良い機会を捉えて感謝状を贈呈・郵送した。	4月1日～3月31日	・寄附・募金箱設置協力企業	職員5名	・全国の市民、企業、団体等	約8百人	
	・連合会が「盲導犬利用カード」を作成・配布し、盲導犬事業への理解と支援、普及に努めた。	9月～3月	・寄附者、関係各所	職員5名	・寄附・募金箱設置協力企業	約8百人	
	・等身大盲導犬募金箱について、6台の新規導入、83台の修理入替を行った。	4月1日～3月31日	・全国のスーパー店頭等	職員2名	・全国の盲導犬使用者 ・寄附者・募金箱設置協力企業	約8百人	
	・DUET誌「犬」向けの活動報告書「DUET誌「犬」通信VOL.5」を400部発行、誌「犬」会員及び支援企業へ配布した。	6月1日～3月31日	・誌「犬」会員、寄附・募金箱設置協力企業	職員2名	・全国の市民、企業や団体等	約8百人	
	・キャッシュレス寄附のプラットフォームとしてソフトバンクの「つながる募金」を開設した。	2月		職員2名	・全国の盲導犬使用者 ・寄附者	約8百人	
・「盲導犬受け入れ全国調査(2025)」報告書を千部作成した。	3月	・事務局	職員2名	・全国的盲導犬使用者	約31万人		
相談事業	・盲導犬貸与希望、入店拒否、使用者相談、事業者・市民相談など	4月1日～3月31日	・事務局相談室	職員5名	・視覚障害者 ・全国の市民、企業、	約31万人	520

	142件を受付対応し、具体的な解決を図った。 ・市民からの盲導犬ユーザーなどへのメール通報について、苦情解決対応マニュアルに沿って各施設と連携して解決に努めた。	4月1日～ 3月31日	・事務局相談室	職員5名	団体等 ・全国の盲導犬使用者 ・視覚障害者 ・全国の市民、企業団体行政等	約8百人 約31万人	
資格認定事業	・盲導犬育成の担い手である訓練施設職員を対象に資格認定審査会を開催し、盲導犬歩行指導員1名、盲導犬訓練士4名の計5名を資格認定した。	8月1日～ 3月12日	・訓練施設を認定審査会場として学科・オンラインによる実技審査と面接を実施	職員2名 審査員9名 面接員3名	・盲導犬育成訓練施設職員(受験者6名)	6名	179
職員養成支援事業	・盲導犬歩行指導員等資格認定審査申込者を対象に、スクリングとして、加盟施設相互研修事業への参加、及び資格認定委員会にて事例発表を行わせた。 ・加盟施設職員研修として「①動物福祉に関する勉強会、②ハッピーカム、③人材育成マサト、④共同訓練研修、⑤ユーザー・犬の防災研修」の事業を実施した。	4月12日 12月5～6日 2月27日  ①4月12日 ②7月19～20日 ③7月16日 ④12月5～6日 ⑤12月19日	・訓練施設およびオンライン  ①日本盲導犬協会・オンライン ②北海道盲導犬協会 ③オンライン ④東日本盲導犬協会 ⑤オンライン	職員2名  職員2名	・盲導犬育成訓練施設職員  ・盲導犬育成訓練施設職員	6名  ①122名 ②12名 ③16名 ④7名 ⑤37名	1,086
使用者団体協力事業	・全日本盲導犬使用者の会総会および創立30周年記念イベントをサポート要員として近接施設職員、連合会職員派遣を行った。	5月25日～26日  12月8日～10日	戸山オンライン  大宮	職員2名 施設職員4名	・全国の盲導犬使用者	約8百人	215
情報交換及びネットワーク構築事業	・訓練施設と盲導犬育成普及に向けた協議(運営委員会)を3回開催した。 ・日本盲人社会福祉施設協議会 自立支援施設部会盲導犬委員会の「令和5(2023)年度盲導犬訓練施設年次報告書」の製本を行い、関係各所へ発送を行った。	4月1日～ 3月31日  5月	・事務局  ・事務局	職員5名 施設職員8名  職員5名	・全国の盲導犬使用者 ・盲導犬育成訓練施設 ・盲導犬育成施設11施設等	約8百人	954
財政基盤支援事業	・盲導犬育成訓練施設の盲導犬無償貸与事業にかかる費用の一部助成・補助を16頭分行った。 ・フォローアップにかかる費用の一部助成を599頭分行った。	4月1日～ 3月31日	・盲導犬育成訓練施設	職員2名	・全国の盲導犬使用者	約8百人	52,160
調査研究事業	加盟施設協力の元、5年ぶりに「盲導犬受け入れ全国調査(2025)」を実施。盲導犬同伴に対する社会の理解、さらには事業者による合理的配慮の提供義務化を背景として、ユーザーが抱える社会的障壁・人々の障害	10月～3月	・事務局 ・盲導犬育成訓練施設	職員2名 施設職員16名	・全国の盲導犬使用者	約8百人	139

	に対する理解についても調査の上、プレスリリースを行った。						
国際交流事業	・IGDF セミナーは隔年開催のため本年度は行わなかった。	なし	なし	なし	なし	なし	0
顕彰事業	・今年度は行わなかった。	なし	なし	なし	なし	なし	0

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
盲導犬グッズ販売事業	実施しなかった。	なし	なし	なし	0